

科目番号	2F-8	科目名	流通政策論
大学名	長崎県立大学 佐世保校	担当教員	神保 充弘(経営学部経営学科 教授)
開講形態	既存科目・前期	曜日	水曜日
教養・専門別	専門	時限	2時限
単位数	2単位	開講期間	平成30年4月11日(水)～平成30年8月1日(水)
授業定員	130人 (うち単位互換定員10人)	開講時間	10時40分～12時10分(90分)「毎週水曜日」
履修年次	2年次以上	試験・評価方法	学期末試験(40%)、講義内容の要約等(30%)、小テスト、レポート(30%)
開講場所	佐世保校	実習費等	テキスト代 3,000円程度
選考方法	書類選考	その他の特記事項	流通に関する基礎的科目(流通論、商業論、マーケティング論、商業史など)をあらかじめ受講していることが望ましい。
連絡先	長崎県立大学 佐世保校 学生支援課 教務グループ TEL 0956-47-5706 FAX 0956-47-4616		

科目内容

この講義では、流通政策を理論的、体系的に理解するとともに、主要な流通政策を個別に取り上げ、その現状と課題を歴史的コンテキストを踏まえながら考察する。

科目番号	2F-9	科目名	ミクロ経済学
大学名	長崎県立大学 佐世保校	担当教員	有馬 弥重(地域創造学部実践経済学科 准教授)
開講形態	既存科目・前期	曜日	水曜日
教養・専門別	専門	時限	2時限
単位数	2単位	開講期間	平成30年4月11日(水)～平成30年8月1日(水)
授業定員	200人 (うち単位互換定員10人)	開講時間	10時40分～12時10分(90分)「毎週水曜日」
履修年次	2年次以上	試験・評価方法	レポート、小テストおよび定期試験
開講場所	佐世保校	実習費等	なし
選考方法	書類選考	その他の特記事項	
連絡先	長崎県立大学 佐世保校 学生支援課 教務グループ TEL 0956-47-5706 FAX 0956-47-4616		

科目内容

経済学では、資源や財をいかに無駄なく活用するかということが重要な問題となっている。無駄なく最も有効に活用されている状態を効率的、または最適といった概念で表現するが、このような効率性を達成するためにはどのようにすればよいかということを分析していくことがミクロ経済学の狙いの一つに挙げられる。その達成手段を分析するために、個人(家計)や企業などが財を売買するといった経済的行動がどのようにして決定するのか、また財の取引が行われる市場についてそのメカニズムがどのように決定するのかといったことについて取り上げる。特に個人や家計の消費行動、そして企業の生産・供給行動に関して理論的な解釈ができるよう解説を行っていく。

科目番号	2F-10	科目名	開発経済論Ⅱ
大学名	長崎県立大学 佐世保校	担当教員	中村 和敏(地域創造学部実践経済学科 准教授)
開講形態	既存科目・前期	曜日	水曜日
教養・専門別	専門	時限	2時限
単位数	2単位	開講期間	平成30年4月11日(水)～平成30年8月1日(水)
授業定員	50人 (うち単位互換定員10人)	開講時間	10時40分～12時10分(90分)「毎週水曜日」
履修年次	2年次以上	試験・評価方法	定期試験で評価する。ただし、レポートを課すことがある。
開講場所	佐世保校	実習費等	テキスト代 3,000円程度
選考方法	書類選考	その他の特記事項	
連絡先	長崎県立大学 佐世保校 学生支援課 教務グループ TEL 0956-47-5706 FAX 0956-47-4616		

科目内容

この講義では、途上国が直面している現状や問題点、そしてその解決方法について解説を行う。それらを通じて経済発展のメカニズムについて理解を深めてもらうことが目的である。取り扱うトピックスとしては、①途上国における農業の役割、②焼畑の現状と森林破壊、③緑の革命、④小作制度、⑤世界の経済協力体制、⑥日本のODA、などを予定している。

科目番号	2F-11	科目名	ミクロ経済学入門
大学名	長崎県立大学 佐世保校	担当教員	中村 和敏(地域創造学部実践経済学科 准教授)
開講形態	既存科目・前期	曜日	木曜日
教養・専門別	専門	時限	2時限
単位数	2単位	開講期間	平成30年4月12日(木)～平成30年8月2日(木)
授業定員	150人 (うち単位互換定員10人)	開講時間	10時40分～12時10分(90分)「毎週木曜日」
履修年次	1年次以上	試験・評価方法	定期試験および課題提出による
開講場所	佐世保校	実習費等	なし
選考方法	書類選考	その他の特記事項	
連絡先	長崎県立大学 佐世保校 学生支援課 教務グループ TEL 0956-47-5706 FAX 0956-47-4616		

科目内容

市場のしくみや消費者がどのように財の購入を行うのかといった事象について、身近な事柄を通じて、ミクロ経済学の基礎的概念、用語について学ぶ。そして日常の経済的現象に興味を持ち、それらの現象を理論的に分析できるように、特に消費者行動理論、企業の生産行動理論、市場均衡と社会的余剰、また不完全競争やゲーム理論の基礎などについて学修する。

科目番号	2F-12	科目名	日本企業入門
大学名	長崎県立大学 佐世保校	担当教員	三戸 浩(経営学部経営学科 教授)
開講形態	既存科目・前期	曜日	木曜日
教養・専門別	専門	時限	4時限
単位数	2単位	開講期間	平成30年4月12日(木)～平成30年8月2日(木)
授業定員	250人 (うち単位互換定員10人)	開講時間	14時40分～16時10分(90分)「毎週木曜日」
履修年次	1年次以上	試験・評価方法	レポートによる評価
開講場所	佐世保校	実習費等	なし
選考方法	書類選考	その他の特記事項	
連絡先	長崎県立大学 佐世保校 学生支援課 教務グループ TEL 0956-47-5706 FAX 0956-47-4616		

科目内容

【授業概要とテーマ】

経営学部で学ぶ準備として、対象となる企業の実態を知ることは不可欠である。日本の代表的な企業を取り上げ、経営の特徴、業界の現状などを映像資料なども活用しながら学修する。また、実際に働くことになる職場とはどのようなものか、実態や企業の取組み、問題点を映像資料から学修する。そこで得た知識をもとに、経営学部で開設されている専門科目への理解を深め、卒業後の進路を考える基礎とする。

【到達目標】

統計データやケース、映像資料で学んだ日本の主要産業の代表的な企業の現状・問題点を説明できるようになる。日本企業における職場の実態、問題点を説明できるようになる。授業選択の判断の材料にできるようになる。

科目番号	2F-24	科目名	マーケティング論
大学名	長崎県立大学 佐世保校	担当教員	大田 謙一郎(経営学部経営学科 講師)
開講形態	既存科目・後期	曜日	月曜日
教養・専門別	専門	時限	5時限
単位数	2単位	開講期間	平成30年10月1日(月)～平成31年2月4日(月)
授業定員	250人 (うち単位互換定員10人)	開講時間	16時20分～17時50分(90分)「毎週月曜日」
履修年次	1年次以上	試験・評価方法	学期末試験…80%、小テスト…20%
開講場所	佐世保校	実習費等	テキスト代 2,200円程度
選考方法	書類選考	その他の特記事項	
連絡先	長崎県立大学 佐世保校 学生支援課 教務グループ TEL 0956-47-5706 FAX 0956-47-4616		

科目内容

【授業概要とテーマ】

本講義ではブランドを中心としたマーケティングの基礎を理解することを目的に講義を行なう。

企業のマーケティング活動の意味を理解し、それが企業活動全体としてどのような意味をもつのか、社会的な役割を果たしているのかを考察していく。

【到達目標】

- ・マーケティングの基本的な原理を理解する。
- ・講義中で出てくるマーケティングの専門用語を理解する。
- ・専門用語を用いて、企業の活動や企業と市場の関係を論述できる。

科目番号	2F-25	科目名	ミクロ経済学Ⅱ
大学名	長崎県立大学 佐世保校	担当教員	有馬 弥重(地域創造学部実践経済学科 准教授)
開講形態	既存科目・後期	曜日	水曜日
教養・専門別	専門	時限	2時限
単位数	2単位	開講期間	平成30年10月3日(水)～平成31年2月6日(水)
授業定員	50人 (うち単位互換定員10人)	開講時間	10時40分～12時10分(90分)「毎週水曜日」
履修年次	2年次以上	試験・評価方法	レポート、小テストおよび定期試験
開講場所	佐世保校	実習費等	なし
選考方法	書類選考	その他の特記事項	
連絡先	長崎県立大学 佐世保校 学生支援課 教務グループ TEL 0956-47-5706 FAX 0956-47-4616		

科目内容

消費者側の需要と生産者側の供給という2つの側面を受けて、財やサービスのやり取りが実際にどのように行われるか、そして価格や数量がどのように決定するのかという市場均衡について取りあげていく。そして取引形態の違いによって、完全競争市場、独占市場、寡占市場などに区分される実際のそれぞれの市場形態の特徴や、そこでの財の取引によってどのような便益が発生するのかを見ていく。また不確実な要素を含む状況において、個人や経済主体はどのようにして意思決定を行うのかという、ゲーム理論や情報に関する考え方についても解説を行っていく。

科目番号	2F-26	科目名	開発経済論
大学名	長崎県立大学 佐世保校	担当教員	中村 和敏(地域創造学部実践経済学科 准教授)
開講形態	既存科目・後期	曜日	木曜日
教養・専門別	専門	時限	1時限
単位数	2単位	開講期間	平成30年10月4日(木)～平成31年2月7日(木)
授業定員	100人 (うち単位互換定員10人)	開講時間	9時00分～10時30分(90分)「毎週木曜日」
履修年次	3年次以上	試験・評価方法	定期試験で評価する。ただし、レポートを課すことがある。
開講場所	佐世保校	実習費等	テキスト代 3,000円程度
選考方法	書類選考	その他の特記事項	
連絡先	長崎県立大学 佐世保校 学生支援課 教務グループ TEL 0956-47-5706 FAX 0956-47-4616		

科目内容

この講義では、途上国が直面している現状や問題点、そしてその解決方法について解説を行う。それらを通じて経済発展のメカニズムについて理解を深めてもらうことが目的である。取り扱うトピックスとしては、①経済発展とは何か、②世界の経済発展の軌跡、③『世界がもし100人の村だったら』、④人口爆発と貧困、⑤エイズ問題、などを予定している。

科目番号	2F-27	科目名	マクロ経済学入門
大学名	長崎県立大学 佐世保校	担当教員	芳賀 普隆(地域創造学部実践経済学科 講師)
開講形態	既存科目・後期	曜日	木曜日
教養・専門別	専門	時限	2時限
単位数	2単位	開講期間	平成30年10月4日(木)～平成31年2月7日(木)
授業定員	150人 (うち単位互換定員10人)	開講時間	10時40分～12時10分(90分)「毎週木曜日」
履修年次	1年次以上	試験・評価方法	出席状況、課題レポート及び定期試験などの総合評価
開講場所	佐世保校	実習費等	テキスト代 定価:本体2,800円+税
選考方法	書類選考	その他の特記事項	
連絡先	長崎県立大学 佐世保校 学生支援課 教務グループ TEL 0956-47-5706 FAX 0956-47-4616		

科目内容

本講義では、近代経済学のもう一つの基礎理論である、マクロ経済学について扱う。マクロ経済学の基本的な考え方や捉え方を学ぶことで、より専門的な分野を学ぶための基礎的な知識の習得を目指す。また、学んだ基礎理論をもとに現実の経済問題への関心を高め、理解を深めることが講義のテーマである。講義は、テキスト(伊藤元重著『マクロ経済学』日本評論社、2012年)を基本として進める。なお、講義資料は配付するが、適宜メモをとってもらいたい。

科目番号	2F-28	科目名	地方財政論
大学名	長崎県立大学 佐世保校	担当教員	綱 辰幸(地域創造学部公共政策学科 教授)
開講形態	既存科目・後期	曜日	木曜日
教養・専門別	専門	時限	3時限
単位数	2単位	開講期間	平成30年10月4日(木)～平成31年2月7日(木)
授業定員	150人 (うち単位互換定員10人)	開講時間	13時00分～14時30分(90分)「毎週木曜日」
履修年次	2年次以上	試験・評価方法	レポート、定期試験などの総合評価
開講場所	佐世保校	実習費等	テキスト代 3,500円程度
選考方法	書類選考	その他の特記事項	
連絡先	長崎県立大学 佐世保校 学生支援課 教務グループ TEL 0956-47-5706 FAX 0956-47-4616		

科目内容

以前わが国は、「権限」、「財源」ともに中央政府(国)に集中していた。この国への権限と財源の集中は、全国で同水準の行政サービスの供給や地域間格差の縮小に有効であった。だが現在、住民ニーズの多様化等により、そのことが地域行政サービスの独自の提供を困難にしている。他方、2000年4月のいわゆる地方分権一括法は、機関委任事務の廃止など、中央政府(国)と地方政府の関係をかえるものとなった。そこで、国と地方政府の間における「財源」と「権限」の配分から、日本の地方財政がおかれている状況を理解することが本講座のテーマである。

科目番号	2F-29	科目名	政策評価論
大学名	長崎県立大学 佐世保校	担当教員	奥山 忠裕(地域創造学部公共政策学科 准教授)
開講形態	既存科目・後期	曜日	金曜日
教養・専門別	専門	時限	2時限
単位数	2単位	開講期間	平成30年10月5日(金)～平成31年2月8日(金)
授業定員	200人 (うち単位互換定員10人)	開講時間	10時40分～12時10分(90分)「毎週金曜日」
履修年次	2年次以上	試験・評価方法	レポート・試験
開講場所	佐世保校	実習費等	なし
選考方法	書類選考	その他の特記事項	資料の配布を行う
連絡先	長崎県立大学 佐世保校 学生支援課 教務グループ TEL 0956-47-5706 FAX 0956-47-4616		

科目内容

新公共経営の導入以降、地方創生関連事業におけるKPI指標など、行政分野における政策の効果把握するための政策評価手法が重要なウェイトを占めるようになってきている。公的機関において専門的な政策評価の利用法や課題を指摘できる人材の育成を目指し、本講義では、それら手法の中から、実践性の高い評価手法、および、政策評価に用いられやすい評価手法の双方を学ぶ。
(1)汎用性の高い政策評価手法の実践、(2)経済理論に基づく政策評価手法の学修、(3)評価手法とその課題の理解

科目番号	2F-30	科目名	地域経済論
大学名	長崎県立大学 佐世保校	担当教員	吉本 諭(地域創造学部公共政策学科 准教授)
開講形態	既存科目・後期	曜日	木曜日
教養・専門別	専門	時限	4時限
単位数	2単位	開講期間	平成30年10月4日(木)～平成31年2月7日(木)
授業定員	260人 (うち単位互換定員10人)	開講時間	14時40分～16時10分(90分)「毎週木曜日」
履修年次	1年次以上	試験・評価方法	出席兼課題レポートの提出・・・45% 期末試験・・・55%
開講場所	佐世保校	実習費等	テキスト代 定価:本体1,800円+税
選考方法	書類選考	その他の特記事項	
連絡先	長崎県立大学 佐世保校 学生支援課 教務グループ TEL 0956-47-5706 FAX 0956-47-4616		

科目内容

【授業概要とテーマ】
地域経済論は、なぜ地方の人口減少や都市への人口集中が起こるのかについて考えることを中心として、地域間の人的・物的な資源配置に影響する要因の整理、および地域間の相互関係などについて経済学の考え方に基づき学修する。授業は、12回の講義と3回のグループ・ディスカッションを行う。グループ・ディスカッションでは、講義を通して学んだことを基礎として、長崎県の地域経済に関連するテーマについてグループに分かれ議論する。
講義は、テキスト(佐藤泰裕著『都市・地域経済学への招待状』有斐閣、2014年)を基本として進める。
【到達目標】
地域経済学の基礎を学ぶことができる。長崎県の地域経済の現状と課題について理解を深め、地域の今後の方向性を考えることができる。